

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和2年度第1回高松市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和2年10月21日(水) 10時～11時30分
開催場所	高松市役所 3階32会議室
議 題	(1) 会長・副会長の選任について (2) たかまつ女性活躍促進事業の令和元年度実績及び令和2年度実施予定について (3) 第4次たかまつ男女共同参画プランの令和元年度における進捗状況について (4) 第4次たかまつ男女共同参画プランの計画期間延長について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	柴田会長、春日副会長、岩崎委員、高橋委員、樽谷委員、徳倉委員、仁賀委員、藤澤委員、藤田委員、藤本委員、松村委員
傍聴者	1人 (定員 2人)
担当課及び連絡先	男女共同参画・協働推進課 (839-2275)

会議経過及び会議結果

(1) 会長・副会長の選任について
高松市男女共同参画推進懇談会設置要綱第5条第2項に規定に基づき、委員の互選により会長が選任され、副会長は会長が指名した。
会長 柴田 潤子 氏 副会長 春日 あけみ 氏

(2) たかまつ女性活躍促進事業の令和元年度実績及び令和2年度実施予定について

(事務局説明)

(会長)
今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、会議の時間短縮を図るため、委員の皆様から事前に質問等をいただいている。議題(2)についての事前質問等がある場合は事務局から説明をお願いする。

(事務局)
議題(2)についての質問はなかった。

(3) 第4次たかまつ男女共同参画プランの令和元年度における進捗状況について

(事務局説明)

会議経過及び会議結果

(会長)

議題(3)についての事前質問等がある場合は事務局から説明をお願いする。

(事務局)

議題(3)についての質問は回答をまとめたものを、机上配布している。時間の関係上、男女共同参画・協働推進課が担当している3項目を説明させていただく。

(事務局説明)

(委員)

まず1つ目は、会議の運営について、資料を事前に確認しているので、説明を省略し、各委員が発言する機会を前提とした方が、効率的に会議を進められるのではないかと。

2つ目は、資料2-1について、目標値に対する達成率の表し方がわかりづらい。また「審議会等における女性の割合」について、女性の割合が多い審議会もあれば、土木関係等、女性の少ない審議会もある。少ないところについて、どうすべきかという視点で意見を求めていくべきである。

(事務局)

1つ目については、もっともであり、今後検討する。2つ目についても、次期プラン作成時には、皆様にわかりやすい表現にしたい。

(会長)

今後、委員の意見を取り入れさせていただく。また、審議会等の女性の割合については、確かに土木関係等は女性が少ないというのはあるが、少し視点を変えて委員を探せば、女性委員が見つかることは多々あると思う。委員会は、多角的な視点で議論する場である。女性の少ない委員会については、積極的な行政の働きかけをお願いしたい。

(委員)

「保育施設待機児童数」について、待機児童数に対して、保育士が何名足りないのか、一人の保育士が受け持っている児童が何名かといった数字が見えたとわかりやすい。その上で、具体的に、保育士の養成、保育士の市外への流出をどう止めるか等の対策につながっていくと考える。

(事務局)

資料の数字の見せ方については、次回検討する。保育士については、担当課の方で積極的に確保に努めていく。

(委員)

保育施設等の受入れ状況については、地域によって差があり、まだまだ子どもを受け入れられる地域もある。それも加味した数字となっているのか。空いているところへの入所を勧める等、調整することも考えていただきたい。保育料が無償化になり、急激に待機児童が増えたという現状も考えていただきたい。

(会長)

課題が山積しているが、待機児童の問題は、社会的に女性の進出を促した

めにも重要な課題である。市でも有効な施策を講じていただきたい。

(委員)

令和2年度たかまつ女性活躍促進事業について、今現在の進捗状況は。

(事務局)

セミナー等については、コロナの影響もあり、一部Webを活用して実施している現状であり、集客面では、前年度と変わらない状況である。

(委員)

この事業は、内閣府の補助金による事業である。仕様等について市と調整を図り、再就職支援セミナーについては、Web講座を開催することができた。結果的には、例年よりも多くの方に参加していただいた。アンケートによると、Web形式で助かった等の意見があったが、Web環境が整っていない方が参加できない点が課題である。

対面型のセミナーについても先週実施したが、これは仕様の関係で交流会を開催する必要があったためである。日中は外出を控えている企業が多いことを鑑み、大きな会場で夜間に開催した。10社ほど来ていただいたが、例年より参加が少なく、コロナの影響を受け、厳しい結果となった。

(4) 第4次たかまつ男女共同参画プランの計画期間延長について

(事務局説明)

(会長)

議題(4)についての事前質問等がある場合は事務局から説明をお願いする。

(事務局説明)

(委員)

目標値については、前は変更したが、今回は変更しないということか。

(事務局)

前回の延長の際は、目標値を新たに設定したが、今回は、実績値が伸びていないものが多く、今以上に達成率を上げていくことに主力を置き、他の計画で実質的な目標値がある場合を除いて、新たな目標値は設定しない考えである。

(委員)

前は目標値を変えたが、今回は変えないというところが疑問であった。

(事務局)

今ある目標値で、なるべくA評価になるよう主力を置いていく。

(委員)

D評価の部分は、さらなる啓発をしていかなければならない。

(事務局)

改善に期間が必要なものも多々あり、状況を見ながら取り組んでいく。

(委員)

難しい部分もあるが、行政でできない部分は、他にお願いするなどして取り組んでいただきたい。

(委員)

現在、国では第5次男女共同参画基本計画の策定が進んでいる。コロナ等の影響もあり、この5～6年でかなり社会の状況も変化している。それに伴い、様々な社会問題に対応するベースとしての男女共同参画基本法であるという解釈の中、国の第5次計画においても、第4次計画からかなり変化がある。

男女共同参画という中心は変わらないが、対応すべき問題が増えている中で、また、これから県の計画が策定される中で、計画期間が1年延長となり、延長した分だけより良いものにしていただきたいと考えている。

(5) その他

次回開催予定について

(会長)

全体を通して、意見等はないか。

(委員)

何かあれば相談できるシステムづくりは大切であるが、資料2-3、26ページ「ひとり親家庭等を対象とした相談体制の充実」について、母子父子自立支援専門員3人に対して、自立支援相談件数1,264件というのは、自立支援専門員が少ない印象を受ける。これから専門員を増やす予定か、3人で相談件数をまかなえているのか。

(事務局)

担当課に確認し、後日回答する。

(委員)

コロナ等の影響もあり、経済的な問題等、相談件数が増えているのではないと思われる。身近なことを専門家に相談できるシステムというのは充実させてほしい。

(会長)

1,264件に対して3人というのは、やや少ないような印象であるし、相談件数としては少なくないと思われる。コロナの影響もあるので、ぜひ力を入れていただきたい。

(事務局)

次回の懇談会の開催までの間に、質問や意見がある場合は、事務局に問い合わせただけければ、資料を準備したり、次回の懇談会で担当課から説明をさせることもできる。

(会長)

それでは、次回開催までの間で、質問等があれば、事務局に問い合わせをしていただきたい。

(閉会)